

平成 30 年 8 月 22 日

**CV-22 オスプレイの横田飛行場への配備日程公表に関する
横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会コメント**

本日、防衛省は、CV-22 オスプレイの横田飛行場への配備日程について、添付資料のとおり公表しました。

これを受け、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会として、国及び米軍宛てに口頭要請を行ったことを含め、別紙のとおり、コメントを発表します。

(お知らせ)

30. 8. 22
防 衛 省

CV-22 オスプレイの横田飛行場配備について

本年4月3日、在日米軍は、今年の夏頃に5機のCV-22 オスプレイを横田飛行場へ配備する予定である旨発表を行いましたが、今般、在日米軍から、5機のCV-22 オスプレイを本年10月1日に横田飛行場に配備する旨の連絡がありましたので、お知らせいたします。

[参考] これまでの経緯

- ・ 平成27年5月、平成29年後半より、CV-22 オスプレイを横田飛行場に配備する旨通報
- ・ 平成29年3月、配備を2020米会計年度（平成31年10月～平成32年9月）に延期する旨公表
- ・ 本年4月、このスケジュールを変更し、今年の夏頃に5機のCV-22 オスプレイを横田飛行場へ配備する旨公表

CV-22オスプレイの横田飛行場への配備日程公表に関する
「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」コメント

- 本日、国は、在日米軍が5機のCV-22オスプレイを本年10月1日に横田飛行場へ配備することを公表しました。
- 「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」では、本年4月3日の配備計画の発表以降、国や米軍に対し、安全対策の徹底や生活環境への配慮等を求めるとともに、配備に当たっては、夜間等の飛行訓練を行わないことなどを要請してきました。
- この間、CV-22オスプレイは複数回にわたって横田飛行場に飛来し、特に6月23日以降については、現在に至るまで長期間留まり、地元への事前の情報提供も十分でないまま、飛行場周辺で飛行を繰り返しています。
- このような状況の中、配備日程が発表されたことを踏まえ、本日、国と米軍に対し、本協議会がこれまでに行ってきた配備・運用に関する要請内容を改めて確認し、真摯に対応するよう口頭要請しました。
- 併せて、現在、一時的に立ち寄りしているCV-22オスプレイについて、横田飛行場周辺における飛行を最小限にすること及び飛行に当たっては事前の情報提供、安全対策や騒音等生活環境への配慮を行うことを要請しました。
- 本協議会では、10月1日のCV-22オスプレイの配備に向け、引き続き、国や米軍に対して必要な働きかけを行っていきます。

平成30年8月22日

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長	東京都知事	小池	百合子
副会長	福生市長	加藤	育男
	立川市長	清水	庄平
	昭島市長	臼井	伸介
	武蔵村山市長	藤野	勝
	羽村市長	並木	心之
	瑞穂町長	杉浦	裕之

【8月22日要請】

CV-22オスプレイの横田飛行場配備日程公表に際する口頭要請

本日、国は、CV-22オスプレイの横田飛行場配備日程について公表しました。これを受け、次のとおり要請します。

- ・本協議会がこれまでに行ってきたCV-22オスプレイの配備・運用に関する要請内容（※）を改めて確認し、真摯に対応すること。
- ・現在、一時的に立ち寄りしているCV-22オスプレイについて、横田飛行場周辺における飛行を最小限にすること。また、飛行に当たっては事前の情報提供、安全対策や騒音等生活環境への配慮を行うこと。

平成30年8月22日

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長	東京都知事	小池百合子
副会長	福生市長	加藤育男
	立川市長	清水庄平
	昭島市長	臼井伸介
	武蔵村山市長	藤野勝心
	羽村市長	並木心之
	瑞穂町長	杉浦裕之

※4月3日、4月27日及び6月4日に本協議会が行った要請

CV-22オスプレイの横田飛行場配備に関する
横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会コメント

本日、CV-22オスプレイの横田飛行場配備について国から公表があり、これに先立ち、防衛省北関東防衛局が横田飛行場の所在する東京都と5市1町を訪問し、説明がありました。国の公表及び説明によれば、米国政府は、太平洋地域における安全保障上の懸念に対応するため、平成29年に発表したスケジュールを変更し、今年の夏頃に、5機のCV-22を横田飛行場へ配備する予定であり、また、配備に先立ち、5機が今週後半に地域の安全保障の訓練のため、横田飛行場に一時的な立ち寄りを行う、とのことでした。更に、今後数年間で段階的に計10機のCV-22と約450人の人員を横田飛行場へ配備する予定である、とのことでした。

当協議会は、これまでも国に対し、CV-22オスプレイの配備とMV-22オスプレイの飛来に対する要請を行っており、今般のCV-22オスプレイの配備等の説明を受け、国に対し、これまでの要請の趣旨を踏まえ、下記のとおり、口頭で要請しました。

<CV-22オスプレイの配備について>

- ・ 国の責任において、地元自治体や周辺住民に対して、配備に関する事項の早急な説明、迅速かつ正確な情報提供を行うなど、十分な説明責任を果たすとともに、安全対策の徹底と環境への配慮等を米国に働きかけること。

<CV-22オスプレイの一時的な立ち寄りについて>

- ・ 国の責任において、地元自治体や周辺住民に対して、迅速かつ正確な情報提供及び丁寧な説明を行うこと。
- ・ 日米合同委員会合意の遵守はもとより、安全対策の徹底と騒音への配慮を行うこと。
- ・ 上記について、貴職から米軍へ申し入れること。

これまで、横田飛行場に関する共通の諸問題については、横田飛行場の所在する東京都と5市1町で構成される横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会を設置し、連携し対応してまいりました。

今後も、CV-22オスプレイの配備について、国に対し、当協議会で協議の上、対応していく考えです。

平成30年4月3日

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長	東京都知事	小池	百合子
副会長	福生市長	加藤	育男
	立川市長	清水	庄平
	昭島市長	白井	伸介
	武蔵村山市長	藤野	勝
	羽村市長	並木	心
	瑞穂町長	杉浦	裕之

【4月27日要請】

横田基地へのCV-22オスプレイの配備について（要請）

平成30年4月3日、在日米軍は、横田基地へのCV-22オスプレイの配備に関し、2020米会計年度としていた予定を1年以上前倒しし、今年の夏頃に配備すると発表した。さらに、4月5日には、5機のCV-22オスプレイが横田基地に一時的な立ち寄りのために飛来した。

オスプレイについては、平成28年12月の沖縄県におけるMV-22オスプレイの不時着水をはじめ、国内外での事故や緊急着陸などが続いており、安全性への懸念がぬぐえない状況にある中で、今回の突然の配備前倒しの発表により、基地周辺住民の不安が広がっている。

配備前倒しの発表を受け、既に国に対しては、迅速かつ正確な情報提供等を求めているが、基地周辺住民の不安を解消していくためには、詳細かつ丁寧な説明が行われる必要がある。

については、次のとおり要請する。

記

国の責任において、CV-22オスプレイの配備に関し、以下の事項について具体的な情報提供を行うこと。

- 1 CV-22の配備に関し、スケジュール、人員体制、新規施設整備等について
- 2 CV-22の運用に関し、横田基地における訓練内容や飛行経路等について
- 3 安全の確保と生活環境への配慮に関し、これまでの日米合同委員会合意事項の遵守等について
- 4 その他必要な事項について

平成30年4月27日

防衛大臣 小野寺 五典 殿

北関東防衛局長 吉田 廣太郎 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福生市長	加 藤	育 男
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之

【6月4日要請】

横田基地へのCV-22オスプレイの配備について（要請）

平成30年4月3日、在日米軍は、横田基地へのCV-22オスプレイの配備に関し、2020米会計年度としていた予定を1年以上前倒しし、今年の夏頃に配備すると発表した。

さらに4月5日から13日にかけて、CV-22オスプレイ5機が横田基地に一時的に立ち寄り、5月29日には、同5機が事前の通告なく飛来した。

オスプレイについては、平成28年12月の沖縄県におけるMV-22オスプレイの不時着水をはじめ、国内外での事故や緊急着陸などが続き、安全性への懸念がぬぐえない状況にあり、さらに、今回の突然の配備前倒しの発表や度重なる飛来により、基地周辺住民の不安が広がっている。

このため、配備に先立ち、基地周辺住民や地元自治体へ迅速かつ正確な情報提供がなされる必要があることから、本協議会は4月27日に国に対し、CV-22オスプレイの横田基地配備に関する具体的な情報を早期に提供するよう要請し、今般、国から一定の情報提供を受けたところである。

ついで、配備予定時期が間近に迫っていることを踏まえ、基地周辺住民の安全と生活環境を守るため、下記のとおり要請する。（※）

（※）国に対しては、「ついで、配備予定時期が間近に迫っていることを踏まえ、基地周辺住民の安全と生活環境を守るため、貴職において下記のとおり米軍に申し入れを行うとともに、自らも必要な取組みを行うよう要請する。」と記載

記

CV-22オスプレイの配備及び運用に当たっては、これまでの横田基地の騒音軽減措置やMV-22オスプレイの運用に関する日米合同委員会での合意事項（※1）を遵守するとともに、以下の1～3の事項についても対応すること。

1 CV-22オスプレイの配備について

- （1）今後の配備スケジュールを早期に明らかにすること。
- （2）施設の整備について、工事の内容及びスケジュールを早期に明らかにすること。
- （3）乗組員及び整備要員は、必要な資格及び十分な技術、経験を有する者を配置すること。
- （4）新たに配属となる軍人、軍属等の赴任スケジュールを明らかにするとともに、配属に当たっては、教育訓練と規律の保持を徹底すること。

2 CV-22オスプレイの運用について

- （1）基地及び周辺上空の飛行経路（進入・出発経路及び場周経路）は、既存の飛行経路を使用すること。また、転換モード（※2）での飛行は基地上空でのみ行うこと。

- (2) 離着陸時を除き、地上から500フィート以上の高度で飛行すること。
- (3) 22時から翌6時までの間及び土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する祝日、盆、年末年始、入学試験時期等の特別な日にCV-22オスプレイを使用した訓練等を行わないこと。
- (4) CV-22オスプレイを使用した訓練の実施に当たっては、事前に情報提供を行うこと。
- (5) CV-22オスプレイ配備後の基地全体の離発着回数は、基地周辺住民への影響を踏まえ、できるだけ増加させないこと。

3 その他

- (1) CV-22オスプレイの配備計画や運用の変更等を行う場合は、事前に情報提供を行うこと。
- (2) CV-22オスプレイの配備及び運用に伴う基地周辺住民の不安を取り除くため、安全対策や騒音の軽減等を含め、必要な取組みを行うこと。

平成30年6月4日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
ケネス E. モス 大佐 殿

防衛大臣 小野寺 五典 殿

外務大臣 河野 太郎 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福生市長	加 藤	育 男
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	臼 井	伸 介
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之

(※1)

- ① 昭和39年4月 横田飛行場の騒音規制措置
- ② 平成5年11月 横田飛行場の騒音規制措置(改正)
- ③ 平成24年9月 日本国における新たな航空機(MV-22)に関する合意

(※2)

回転翼から固定翼(または、その逆)へ転換する間の飛行モード